

## BCPセキュリティ環境構築ソリューション

導入事例 株式会社三協技術様

# BCP対策はもちろん 顧客の信頼感を高めて 新規受注につなげる意味でも 不可欠だったISMS構築



自然災害や人的災害など、  
事業の継続に影響を及ぼすさまざまなリスクに  
どのように備え、対応を図っていくかは  
今やどの企業においても重要な経営課題です。  
今回ご紹介する事例は、  
サーバーの入れ替えを契機に  
かねてから懸念材料としていた  
セキュリティ環境を整備。  
万が一の際のリスクマネジメントはもとより、  
ビジネス拡大にもつながった例です。

### ▶ 株式会社三協技術様

sankyocc.jp

河川構造物から都市計画・遺跡調査・アセットマネジメントまで、高い技術を提供する建設コンサルタントとして、国や都道府県など公共機関を中心としたさまざまな顧客からの信頼に応えています。

- 本部 : 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目8番14号
- 設立 : 昭和62年2月17日
- 従業員数: 161名
- 事業内容: 建設コンサルタント  
測量業 地質調査



### ? 導入背景

## サーバーセキュリティの向上とともに 対外的にもISMS認証取得が急務に

世界有数の災害大国ともいわれる日本。地震や洪水、土砂災害など、近年頻発している自然災害は企業経営にも大きな被害を与えています。こうした中、重要となるのが、いつ起こるかかわからない巨大地震や自然災害、その他さまざまな災害リスクを想定した上でのBCP(事業継続計画)の検討です。いつでもどこでどんな災害が起こるか、被害レベルも含めて事前に予測することは困難ですが、事前の備えによって被害を最小限に食い止めることはできるのです。今回ご紹介する株式会社三協技術は、宮城県仙台市に本社を構え、道路や河川、都市公園など公共施設の災害状況調査や復旧のための設計を中心に、東日本大震災以来、急成長を遂げてきた建設コンサルタントです。総務部のシステムマネージャーとして今回の導入を取り仕切る千年氏が語ります。「もともと導入していたシステムでは、サーバーが不安定でデータのバックアップが正常に行われていなかったり、ベンダーのフォロー対応が悪かったりと、かねてからいろいろと不安材料がありました。信頼できるパートナーとともにサーバー、ネットワーク環境を再整備し、万が一のリスクを減らすことはもちろん、自ら営業して仕事を取ってくるというよりは公共機関から指名をいただいて入札するというのが当社の受注への流れですので、高い水準でセキュリティ基準を満たしていることを対外的にアピールする意味でもISMS認証取得が急務だと考えたのです」。



代表取締役社長 高橋 郁 氏

